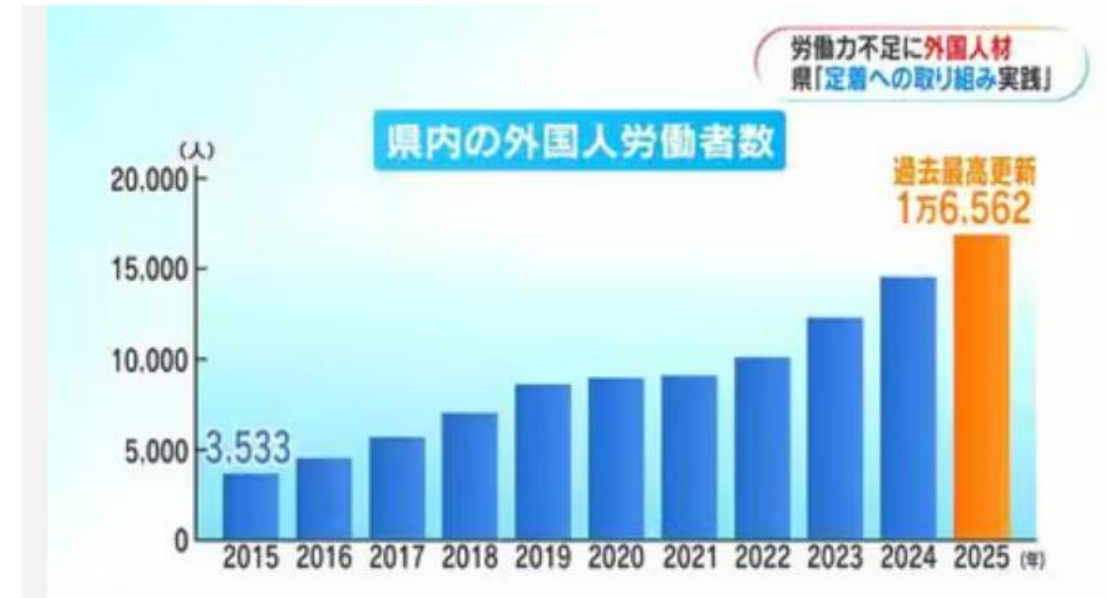


県内1.6万人超の外国人労働者 かごしま外国人材受入活躍推進会議

2026.02.18

鹿児島県内の外国人労働者は2025年10月末時点で1万6562人と過去最多を更新した。
県は「かごしま外国人材受入活躍推進会議」を開催し、安定的な受け入れと共生社会の実現に向けて協議。
技能実習から特定技能への移行時に県外へ転出する人材が年間約1200人に上ることが課題となっている。



実習生監理団体に賠償命令 鹿児島地裁

2026.03.03

枕崎市のかつお節工場で技能実習生として働いたフィリピン人女性4人が、劣悪な環境で就労させられたとして監理団体を訴えた訴訟で、鹿児島地裁は約120万円の支払いを命じた。

相部屋の寝室面積が国の運用要領を下回るなど住環境確保の注意義務を怠ったと認定。

原告側は賠償額が少なすぎるとして控訴する方針。



鹿児島大学「異文化をつなぐ インターンシップ体験」

2026.03.27

鹿児島大学グローバルセンターは、日本人学生と外国人留学生がペアになる国際共修型のインターンシップを実施。

2月16～20日、大崎町の企業3社で5日間の実習を行い、地域における企業の役割や若者・外国人にやさしい職場のあり方を検討した。

3月27日には報告会を開催し、文化の違いを越えた学びの成果を共有した。



外国人材活用へ連携 鹿児島県が商船三井などと協定

2026.06.02

鹿児島県は外国人材の活用・定着促進に向け、商船三井と子会社のMOLキャリアの2社と連携協定を締結した。商船三井は運航する船舶の乗組員の97%が外国人という実績を持つ。技能実習から特定技能への移行時に県外転出する人材が多いことを踏まえ、両社のノウハウを生かし定着を後押しする。

